

## 第17回みんなで唄おう！記録



本日は、朝から小雨模様で、開催時間には、雨足も厳しくなるなど、悪天候に悩まされましたが、参加者は22名を数え、新春の「唄い初め？」が、皆さんの「熱い思い入れ」で、見事なスタートになりました。

今年の4月で、「齢86歳」を迎えるリーダー、「石川陽久さん」は、定刻前には、はるばる、吉祥寺のお住まいから、お元気そのもので登場、今日も素晴らしい会になるぞ！の予感を抱かせました。

令和になって初めての、「湘現会の新年会」も、1月18日に終え、間もない日程にも拘わらず、たくさんの方々がお集りになり、準備に携わっている方々も、ホッと胸をなでおろし、喜びが込み上げて参りました。

いつものように「課題12曲」をこなし、新宿の伝統喫茶、「ともしび」へのチャレンジ曲、「花が咲く日は」に向かって、念には、念を入れて、納得がいくまでの練習を、再三繰り返し、唄いぶりも、やればやれるの見本でした。

「唄おう会！」をしっかりと支えている、石川リーダーは、「小椋佳」が歌っているがごとく「山河」を、ピアノ演奏で朗々と歌いあげ、ピアノ演奏者の山内先生も、「虹と雪のバラード」を、透きとおった歌いぶりで、サブリーダーの山岸さんは、「耳に残るは君が歌声」を、原語で、もの見事に歌い切るなど、三者三様で感動しました。

参加者も、負けてたまるかと、呼応するがごとく、2時間30分余にわたって、新春を飾るに相応しい唄いぶりで、この5年間、裏方でお手伝いしてきた私も、感無量の一日で、苦労も報いら、実に清々しい気持ちでした。